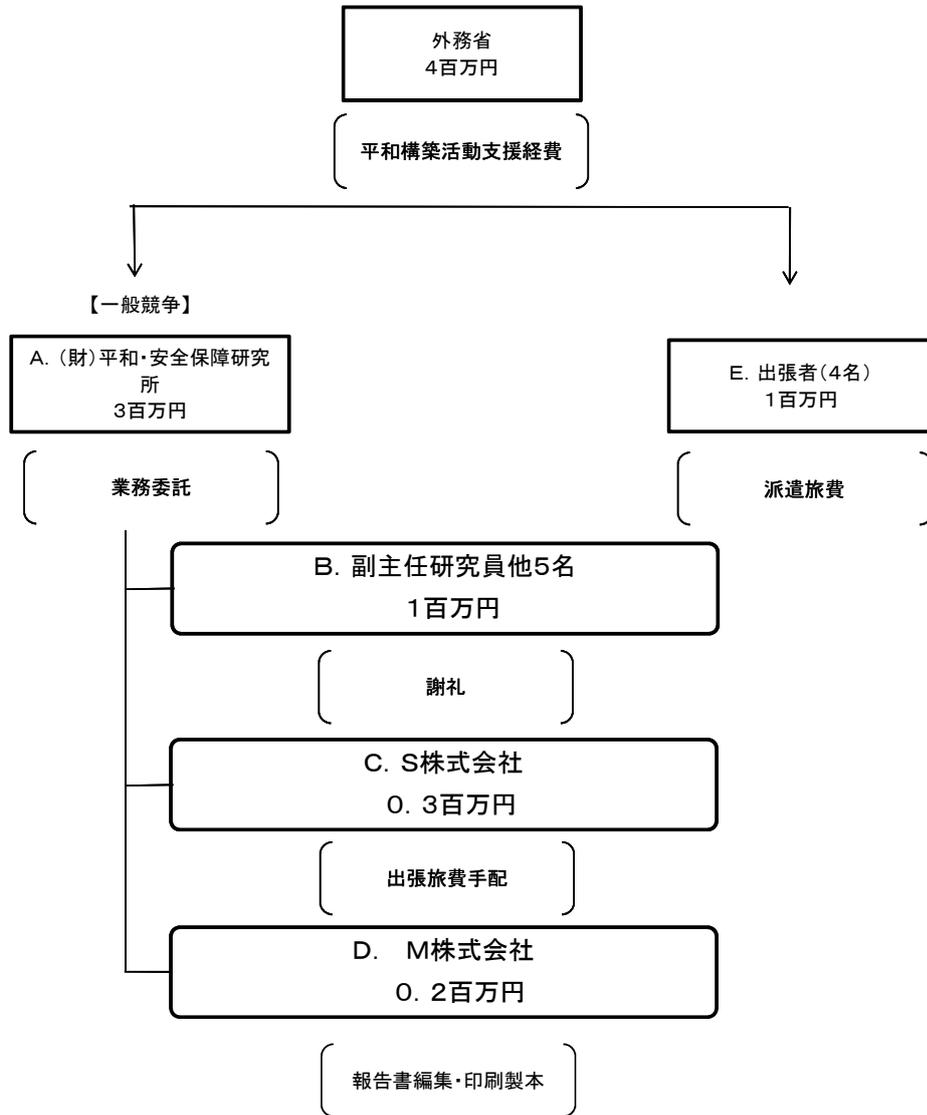


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	平和構築活動支援経費	<b>担当部局庁</b>	総合外交政策局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度開始	<b>担当課室</b>	国連政策課	<b>課長</b>	小林 賢一		
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	II-1 国際の平和と安定に対する取組				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第二項, 第三項 外務省組織令第34条	<b>関係する計画、 通知等</b>	第七十七回国会における菅総理施政方針演説及び前原外務大臣外交演説				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	我が国が平和構築分野の各種議論において実質的な貢献を果たすため、同分野に関する調査、研究等を通じて情報の蓄積を図るとともに、同分野に関する国際社会の動向を把握する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	平成22年度においては「国連総会手続規則の事例調査」を主題とする委託調査を行い、(財)平和・安全保障問題研究所より報告書の提出を受けて、平和構築を含む我が国の外交課題を国連総会を通じて実現するための戦略策定のための資料となった。また国連がPKO「UNOCI」を派遣して和平合意履行を支援しているコートジボワールで行われた大統領選挙の選挙監視に職員を派遣したほか、国連PKO「UNMIT」が派遣されている東ティモールで実施されたスタディ・ツアーに職員を派遣、更に、「国連ネパール政治ミッション(UNMIN)」の活動状況の視察と意見交換のため、現地に職員を派遣した。また、平和構築基金諮問委員会に我が国から選出されている委員の派遣旅費の一部を支出した。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	8	7	5	5	3
	執行額	6	6	4			
	執行率(%)	79.1	93.7	72.9			
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	平和構築分野における調査・研究(件数)の実施及び職員の派遣(人数)による視察・意見交換等。	成果実績	①調査 ②派遣	①1 ②4人	①1 ②3人	①1 ②4人	
		達成度	%	79.1	93.7	72.9	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①調査・研究報告書の提出(件数)、②職員の派遣(人数)。	活動実績 (当初見込み)	①報告書、②派遣	①1 ②4	①1 ②3	①1、②4 (①1、②3)	— ( )
		算出根拠	委託調査2,537千円(1委託調査にかかった総経費)÷1回 派遣旅費1,293千円(4回の出張にかかった総経費)÷4回				
<b>単位当たり コスト</b>	委託調査2,537(千円/回) 派遣旅費323(千円/回)						
<b>平成 23 年度 予算 内訳 (単位: 千円)</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	2,617	2,617	事業見直し等による減			
	調査謝金	2,613	0				
計	5,230	2,617					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国連を通じた平和構築活動という我が国の国際貢献に高い効果が期待される活動について、外交当局が実施することが適切な出張と外部の委託に適した調査研究を効果的に使い分け、いずれも、国連安保理・総会・平和構築委員会におけるその後の我が国の外交活動の推進に有益な見識をもたらした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業見直し等による減</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>縮減(事業見直し等による減)</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>第177回国会における菅内閣総理大臣施政方針演説  「アフリカなどの発展途上国に対する支援、包括的な中東和平、テロ対策やPKOを含む平和維持、平和構築にも、各国と連携して取り組みます。」</p> <p>第177回国会における前原外務大臣の外交演説  「国連平和維持活動(PKO)への協力は、国際社会の平和と安定への貢献の最も有効な手段の一つです。既にハイチ等において自衛隊が重要な貢献を行っていますが、今後より積極的な役割を果たすべく、更なる貢献について検討していきます。スーダン、ソマリアを含む紛争地域や脆弱国家における平和の定着支援にも積極的に取り組みます。」</p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人 平和・安全保障研究所	業務委託(人件費, 報告書作成費, 運営管理費)	3	1	90.63
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	副主任研究員	謝礼(研究会出席謝金, 原稿料謝金, 監修料)	0.3		
2	研究員	謝礼(研究会出席謝金, 原稿料謝金)	0.2		
3	研究員	謝礼(研究会出席謝金, 原稿料謝金)	0.2		
4	研究員	謝礼(研究会出席謝金, 原稿料謝金)	0.2		
5	研究員	謝礼(研究会出席謝金, 原稿料謝金)	0.2		
6	研究員	謝礼(研究会出席謝金, 原稿料謝金)	0.1		
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	S 株式会社	出張旅費手配(航空賃, TAX, 保険料, 宿泊料)	0.3		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	M 株式会社	報告書編集・印刷製本費	0.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者 A	派遣旅費	0.6		
2	出張者 B	派遣旅費	0.3		
3	出張者 C	派遣旅費	0.3		
4	出張者 D	派遣旅費	0.07		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					